

NPOがコーディネートするキャリア教育



めんじょう

毛受 芳高

キャリア教育プロデューサー

NPO法人アスクネット(愛知市民教育ネット)理事

NPO法人アスクネット(愛知市民教育ネット)

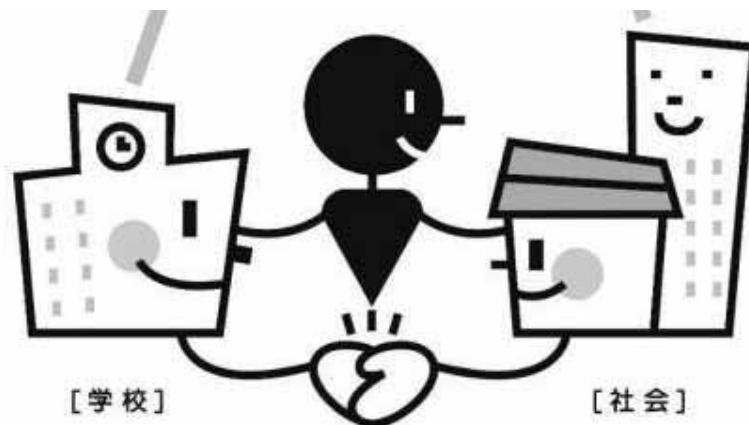
「地域」と「学校等の学びの場」の仲介役 教育コーディネーター

学校教育

- ・小学校、
- ・中学校、
- ・高校

地域教育

- ・子ども会、公民館
- ・イベントや祭り 等



地域の教育資源

- ・企業
- ・企業経営者
- ・企業OB
- ・様々な経験、技術をもった市民
- ・NPOなど市民活動

< NPOの理念 >

市民参加で「出会い」と「挑戦」の教育を推進
子どもたちに、夢を育てるキッカケを提供



NPO法人アスクネットの主な活動



市民講師ナビ

学校のニーズに合わせて市民講師をコーディネート。
年間30校に対し401講座、
15,635名に対して実施。

情報誌Schan

高校生のためのキャリア教育情報誌。
高校生が社会で活躍する様々な人々にインタビューする。
年間3回、各5万部配付。



教育CSR推進

アイシン精機「環境学習プログラム」
やトヨタ自動車「子どもとアーティストの出会い」など、企業が支援する教育プログラムの企画・コーディネート。



愛知県・人材育成 コーディネート推進事業

ふるさと雇用再生特別基金を活用し、
公立高校におけるキャリア教育
と、地域のものづくり人材教育を
コーディネートできる人材を採用・育成する。

経済産業省・キャリア教育コーディネーター事業

地域におけるキャリア教育コーディネーターを育成するカリキュラムを開発し、地域で研修を実施する。

愛知県・寺子屋事業

地域の高校生や大学生対象の2日間のキャリア教育ワークショップ。8つのテーマで講座を展開。

経済産業省・社会人講師 活用型教育支援事業

名古屋市内小学校5、6年生の理科の授業に市民講師を活用。



愛知サマーセミナー

「誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校」
をコンセプトに夏休みの3日間で1000講座の講座を実施。



キャリア教育の進化と課題

- キャリア教育は多くの人や企業、場を必要とする。
- 受動的なものではなく、自ら考え、行動するような授業プログラムは企画実行にノウハウや手間がかかる。
- キャリア教育の効果を高めるには、事前・事後指導の充実など、単発的なものより、時間をかけた体系的なものへ。
- キャリア教育を毎年持続的に実施するための地域の支援をあつめる体制をどのように構築し、整備するか。

これらの課題を解決できる
教育コーディネーターの育成・整備が必要

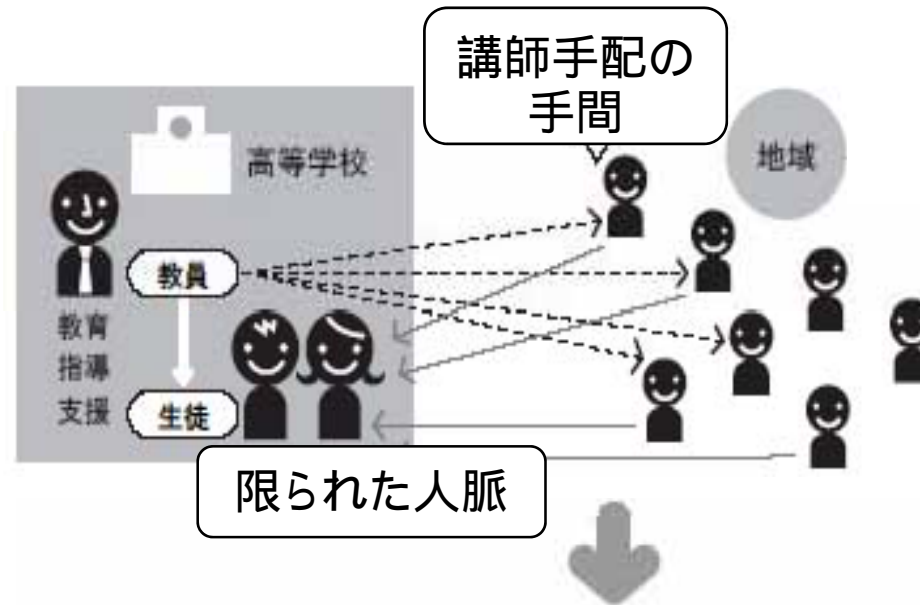


例) 一学年6クラスの高校。

より効果を高めるためには講演会のような大きな会場で聴かせるのではなく、各クラスで1名の講師で話を聴かせたい。→**最低6名の講師が必要。**

コーディネーター がない場合

6名の講師手配、打ち合わせの手間を教員が負担。事前事後指導に時間と手間を掛けられなくなる。



副次的メリット

いい市民講師や職場体験が他の学校にスムーズに移転可能。

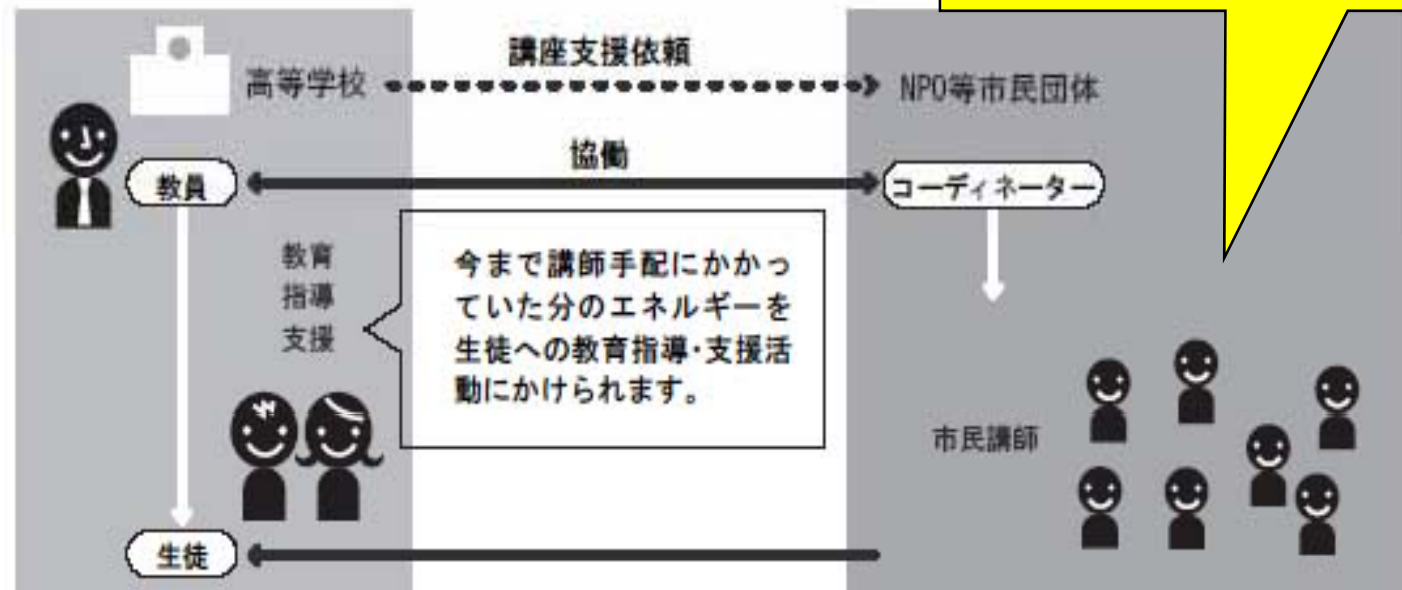
教育に主体的に関わる市民が増え、地域の教育力を高める。

プログラムの持続性が高まる。

企業などの資金を教育に活用する教育CSR

コーディネーター がいる場合

コーディネーターは連絡調整を担い、教員は生徒への事前事後指導に注力することで、より効果が高められる。



工場見学の事前事後学習として 河村電器産業(株)カイゼンゲーム



- ・瀬戸市にある3000人規模の配電盤等を製作する企業。
- ・社会の工場見学の事前、もしくは事後学習として活用。
- ・工場における作業を、箱作りを通して疑似体験し、「カイゼン」する面白さを学ぶ。



企業が参加する理科授業



富士特殊紙業(株)

瀬戸市にあるお菓子などのパッケージ等を主に制作する会社。水溶性のインキでパッケージを印刷する技術を開発。

小学5年生の「ものの溶け方」の単元で登場。実際の印刷に使ったインキをつかった実験などを行った。水と油など、身近なものの溶け方に関する内容。

日東工業株式会社

ブレーカーや配電盤を製造する会社。

電気のつくり、供給される仕組みの大まかな流れを理解した後、ショートの実験を観察し、電気の力を目の当たりにする。ブレーカーや分電盤の実物に触れながら、電気を供給、コントロールされる仕組みを学ぶ。



地域が教育に関わるサマセミ型キャリア教育イベント

- 「誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校」を合い言葉に開校する地域教育イベント
- 愛知の私立学校(中高)の教師、父母、生徒と市民が実行委員会をつくり運営。
- 1989年から始まり、現在は約千講座4万人が参加するイベント。多種多様な地域の教育資源が集まる日本最大級の学びの祭典。
- 子どもたちが講師となって開講される講座も。
- 学びたい人と学ぶ人がつながるイベント。
- 去年は奈良、大阪、神奈川、仙台へと飛び火。



教えることは学ぶこと。
学び合いでふれあい・絆を育む

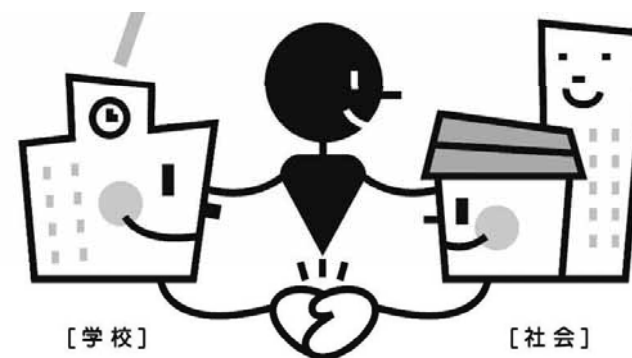


経済産業省「キャリア教育コーディネーター」の定義

全国各地で活躍するコーディネーターへのヒアリング、昨年度事業と有識者会議(地域自律・広域型キャリア教育モデルの在り方研究会)の議論によって、キャリア教育コーディネーターの役割、機能はどんなものかを検討

キャリア教育コーディネーターとは、児童生徒の能力を活用する「場」を提供することで、社会的自立に向けた力のはぐくみを支援し、学校の学びの中で地域一体となったキャリア教育の実現を促す教育支援人材とする。

- 本事業では、学校教育のなかでのキャリア教育の支援者を想定しています。
- 従って、キャリア教育の主体者は教員(学校)であることを確認しました。
- 社会とつながった教育によって、社会人基礎力に上げられるような力をはぐくむための支援ができると考えます。
- 学校をとりまく地域とつながることで、効果的なキャリア教育を継続していくことができると考えます。
- そのため、地域における教育界・産業界のネットワークが大切だと考えます。



キャリア教育コーディネーターに必要な機能と知識

キャリア教育コーディネーターの3つの基本機能

地域資源の発掘と
ネットワークの構
築・維持

学校や地域のニーズを
踏まえたキャリア教育の
カリキュラム・プログラムの
作成支援

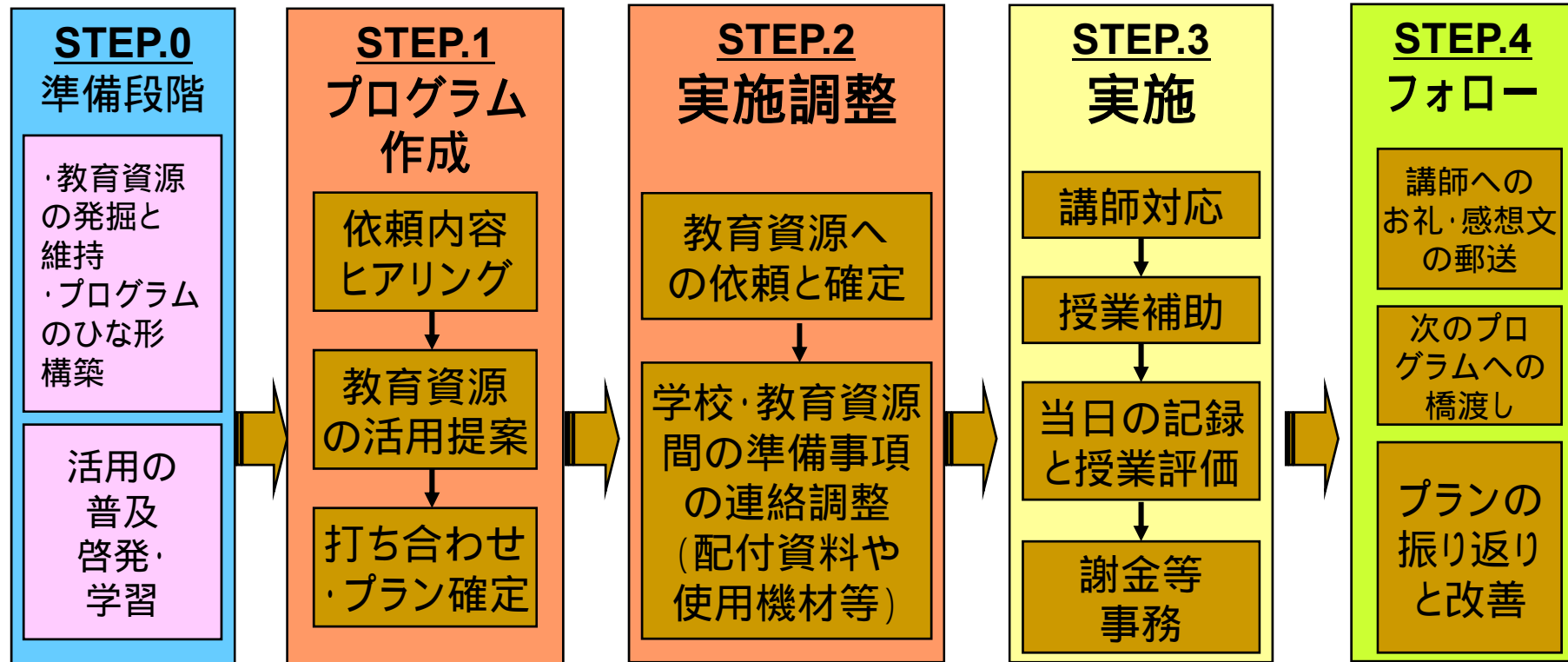
プロジェクト運営管理、
連絡・調整

身につけるべき7つの知識・技術

- キャリア教育概論
- コーディネーターの業務と在り方
- 学校と企業等とのネットワーク構築手法
- 産業・地域の現状
- 学校の現状と課題
- キャリア教育カリキュラム・プログラムの作成手法
- プロジェクトの管理運営に必要な知識・手法



教育コーディネーターの仕事(市民講師派遣の場合)



普及推進していくのがコーディネーターの主戦場

地域資源の発掘とネットワークの構築・維持

発掘・広報

人脈発掘

広報活動

説明会

登録・認証

情報編集、登録

データベース管理

認証・認定

普及

学校訪問・説明

教育委員会等
関係団体訪問

広報

広報資料制作

講座実施の際
プレスリリース

育成・メンテ

定期的な
情報提供

研修・認定
試験等実施

プログラム作成

プログラムの
ひな形作成

他地域の事例
への精通

研修

教師向けの
研修会の開催

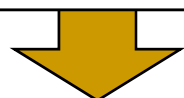
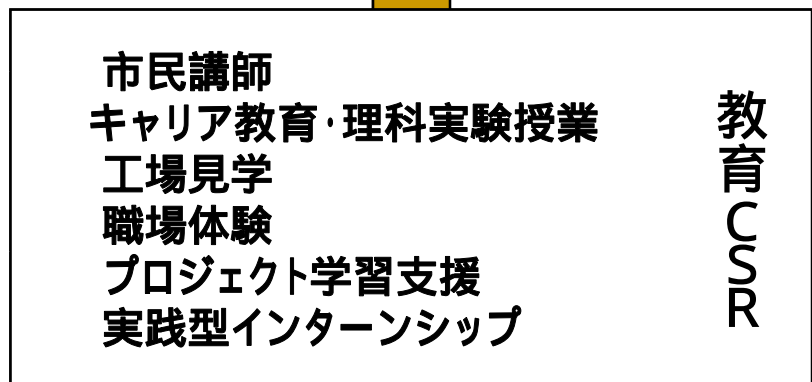
講演会

学習

学校関係の
会議・イベント
への参加



企業も教育に関わることがメリットに！



投資(人・資金)

教育CSRの三つのメリット

地域での存在感の拡大

地域の代表企業になる

社員教育・士気向上

CSR事業を通じて、社員が誇りをもち、「教えること」で成長する。

有能な若者雇用への布石

人材育成に直接関わることで、採用したい人材を増やし、また、自社に対するあこがれ、よいイメージを残す

若者

高校生 より実感、現実とのバランスのとれた将来選択に大きく影響。

中学生 目標となる大人像・生き方、仕事観、社会観に影響。

小学生 好みや興味に影響。子どもの視野を大きく変える「原体験」になる可能性も。



学校・地域・産業界をいかにつなぐか？

～「教育コーディネーター」をITの世界で例えると～



アプリケーション
(ワード、エクセルなど)

OS
(ウィンドウズやMacOS)

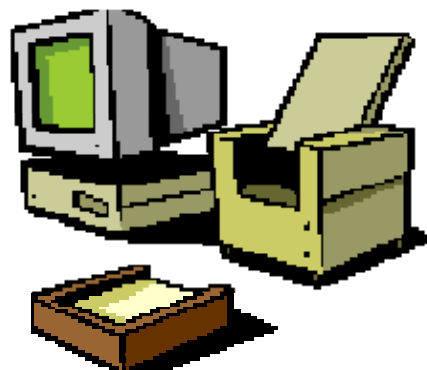
リソース(資源)
(プリンター・スキャナーなど)



プログラム
(キャリア教育、理科授業等)
数々の学校(小中高)

教育OS
(教育コーディネーター)

リソース(資源)
(市民講師・企業など)



「教育コーディネーター」の発生は、
外部の教育資源を活用することが
当たり前になれば、当然の帰結。



地域の人材育成の生態系の構築へ

